

9.21 月・祝

11:40 開会式 ロマンダムールコンサート

長岡で活動する神保幸弘によるソロユニット。“ロマンダムール”的意味はフランス語で「恋愛小説」。

12:00 小林茂 監督 舞台挨拶



1954年新潟県生まれ。「阿賀に生きる」の撮影を担当。監督作品として、障がいのある子も一緒に学童保健所三部作「子どものそら」、重度障がい者のマサヒロさんと仲間たちを描いた「ちょっと青空」を発表。脳梗塞後、重症心身障がい者の世界「わたしの季節」、人工透析後、アフリカのストリートチルドレンの思春期「チョコラ！」を劇場公開。第17回米百傑賞受賞。長岡市在住。

12:10 風の波紋



2015年／日本／カラー／99分／BD

監督：小林茂 撮影：松根広隆 録音：川上拓也 音響：菊池信之 編集：秦岳志 配給：東風

「阿賀に生きる」の撮影で故郷・新潟を見つめた小林茂が、透析生活になり、あらためて自分の原点の山村にカメラを向けた新作。豪雪地域の古民家へ移住した夫婦は茅葺の家を直し、有機無農薬で米を作り生活してきた。移住者をふくめた村人たちの「新たな結び」といってもよい相互扶助が描かれる。2011年3月12日、長野・新潟県境地震が発生。取り壊される古民家。移転する人々。夫婦の家も全壊するが再建を決意する。毎年の農作業も始まった。一風変わったく寸劇的演出>を取り入れ、不可思議な映画世界を表出する。

14:10 沖縄 うりずんの雨

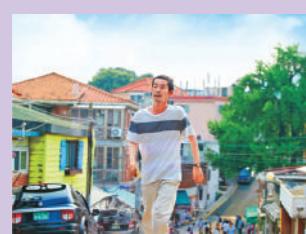


2015年／日本／カラー／148分／BD

監督：ジャン・ユンカーマン 企画・製作：山上徹二郎
撮影：加藤孝信、東谷麗奈 音楽：小室等 製作・配給：シグロ

1945年4月1日、アメリカ軍が沖縄本島に上陸。6月23日（現在の慰霊の日）まで12週間に及んだ沖縄地上戦では4人に一人の住民が亡くなりました。本作は、当時同じ戦場で向き合った元米兵、元日本兵、そして沖縄住民に取材を重ね、米国立公文書館所蔵の米軍による記録映像を交えて、沖縄戦の実情に迫ります。また、戦後のアメリカ占領期から今日に至るまで、米軍基地をめぐる負担を日米双方から押し付けられてきた、沖縄の差別と抑圧の歴史を描き、現在の辺野古への基地移設問題に繋がる、沖縄の人たちの深い失望と怒りの根を浮かび上らせます。

17:00 自由が丘で



2014年／韓国／カラー／67分／BD

監督・脚本：ホン・サンス 出演：加瀬亮、ムン・ソリ
配給：ビターズ・エンド

2年前、クォンとモリは同じ語学校に勤める同僚で、そして恋人同士だった。モリはクォンにプロポーズをした。体調の悪かったクォンは悩んだ末に断った。その後モリはすぐに日本へと帰国したが、また彼女に会おうと韓国にやってきたのだ。モリは、クォンの部屋の近くのゲストハウスに泊まり、クォンを探す。しかし彼女はいない。彼女を探しながら過ごしたソウルでの日々を、モリは手紙に綴った。

18:30 留学生母国紹介



2014年／中国・フランス／カラー／98分／BD

監督・脚本：ロウ・イエ 出演：ハオ・レイ、チン・ハオ
配給・宣伝：アップリンク

優しい夫と可愛い娘。夫婦で共同経営する会社も好調で、なにも不自由のない満ち足りた生活を送る女ルージエ。愛人として息子と慎ましく生活しながらも、いつかは本妻に、と願う女サンチ。流されるまま二人の女性とそれぞれの家庭を作り、二つの家庭で生活する男ヨンチャオ。いびつながらも平穏に見えたそれぞれの日常は、ほんの少しの出来事でいつも簡単に崩壊し、その事件は起きた。

18:40 二重生活

9.22 火・祝

9:40 沖縄 うりずんの雨

2015年／日本／カラー／148分／BD

監督：ジャン・ユンカーマン
企画・製作：山上徹二郎 撮影：加藤孝信、東谷麗奈
音楽：小室等 製作・配給：シグロ

12:30 パパ、遺伝子組み換えってなあに？

13:55

2013年／アメリカ・ハイチ・ノルウェー／カラー／85分／BD

監督：ジェレミー・セイファート 配給・宣伝：アップリンク

3人の子どもを持ったことで“食”について考えるようになつた一人の父親であり、映画監督であるジェレミー・セイファートは、種が大好きな長男の影響もあって「遺伝子組み換え作物＝GMO」に興味を持つ。本作は、遺伝子組み換え食品の真実を追うドキュメンタリーでありながら、「どんな食べものを、家族で選択していくのか」という答えをみつけるまでの、家族の成長物語だ。

13:55 14:10 「世界に誇れる長岡の食文化!～Farm-to-Table in Nagaoka～」上映
presented by 長岡農 × 食プロデュース 思いのほか

14:30

風の波紋

2015年／日本／カラー／99分／BD

監督：小林茂 撮影：松根広隆 録音：川上拓也
音響：菊池信之 編集：秦岳志 配給：東風

©Kasama film

16:09 鼎談：小林茂 監督

× 大熊孝氏（「風の波紋」呼びかけ人代表）

× 旗野秀人氏（「阿賀に生きる」仕掛け人）

+ 天野季子さんのトークと主題曲演奏（「風の波紋」の音楽担当）

17:30 自由が丘で

18:37

2014年／韓国／カラー／67分／BD

監督・脚本：ホン・サンス
出演：加瀬亮、ムン・ソリ
配給：ビターズ・エンド

©2014 Jeonwonsa Film Co. All Rights Reserved.

ながおか映画祭は、
映画を通じて多文化共生・異文化理解を
進めることを目的としています。

ロビーにも大注目！

長岡市在住のコレクター長谷川浩一さんの

「昭和・長岡の映画とショーアン

展示期間：9/21(月・祝)～9/23(水・祝)

第17回長岡インディーズムービーコンペティション公開最終審査会

無料

8月22日(土) 9:30～17:00(随時休憩)

アオーレ長岡 東棟1階 3Dシアター

一次審査を勝ち抜いた自主制作短編映画作品の中から受賞作を決定します。これから日本の映画界を担う新しい才能を目撃してください。

全作品を鑑賞でき審査にご協力いただける方は事前に「主催・お問い合わせ先」へお申し込みください。

審査委員長：井上朗子（にいがた映画塾代表）

【主催・お問い合わせ先】

◎コミュニティシネマ長岡

TEL 940-0066

長岡新聞社

TEL 0258-37-3512

MAIL cc.nagaoka@gmail.com

ブログ http://cinemanagaoka.blog.fc2.com/

携帯 090-9639-6855 (閑矢 9:00～21:00)

「ながおか映画祭」

ホームページ http://www.mynet.ne.jp/~asia/

フェイスブックページ http://www.facebook.com/nagaokafilmfes

ツイッターアカウント http://twitter.com/nagaokafilmfes

ながおか映画祭

検索

9.23 水・祝

10:00 聖者たちの食卓

11:05



2011年／ベルギー／カラー／65分／BD

監督：フィリップ・ヴィチュス、ヴァーリー・ベルト

配給・宣伝：アップリンク

インドのシク教総本山にあたるハリマンディル・サーヒブ＜黄金寺院＞では、毎日10万食が訪れたすべての人のために、すべて無料で提供されている。そこは宗教も人種も階級も職業も関係なく、みなが公平にお腹を満たすことができる「聖なる場所」だ。インド黄金寺院に古くから伝わる食卓の風景に、心解きほぐされる極上のショートトリップ・ドキュメンタリー。これを見れば、今夜の食卓は少し違って見えてくるはず。

11:30 トゥーマスト～ギターとカラシニコフの狭間で～

12:58



2010年／スイス／カラー／88分／BD

監督：ドミニク・マルゴー 出演：トゥーマスト

配給・宣伝：アップリンク

サハラ砂漠西部。インディゴで染めた真っ青な布で全身を覆った青衣の遊牧民、トゥアレグ族。トゥアレグの歴史は苦しみと流浪、反乱と不正義に汚されていた。“トゥーマスト”というバンドを率いる元レジスタンス兵士のムーサは、80年代、リビア、カダフィ大佐の元へ兵士としての訓練を受けに行った。彼がそこで手に入れたものは、カラシニコフとギター。

12:58 市民講座：羽賀友信氏

13:40

長岡市国際交流センター「地球広場」センター長
1950年新潟県長岡市生まれ。2008年JICA理事長（緒方貞子）
賞受賞、地域づくり総務大臣賞。2009年度長岡市表彰。

14:10



GOOD YEAR 特別招待作品

2015年／日本／カラー／20分／BD

監督：林海象 出演：永瀬正敏、月船さらら

山形の廃工場。何かが蠢く水槽の側で、男が何かを造っている。クリスマスのある夜、1人の女が現れる。家族を捨て、東京を捨て、すべてを捨てた女。林海象が新天地、山形で生み出す、短編三部作の第二話。

トーキー：林海象 監督 司会：小林三四郎

13:40



1986年「夢みるよう眠りたい」で映画監督デビュー。「私立探偵マイク」など数々の話題作を監督。京都造形大にて学生と共に「彌勒」を製作。革新的な映画公開に話題を呼ぶ。2014年東北芸術工科大学映像学科学長就任。

彌勒 MIROKU

13:40



2013年／日本／白黒＋カラー／87分／BD

脚本・監督：林海象 原作：稻垣足穂 出演：永瀬正敏、土村芳、佐野史郎、近衛はな 【製作】(株)北白川派 【配給】ミロク革命社
13歳の少年・江美留とその友人たちは、自分たちの将来を夢みていた。それが夢をみつけていく中で、江美留には将来がはっきりとわからなかった。ある日、少年たちの友人の一人が自殺してしまう。その死を悼んだ少年たちは丘の上の天文台に登る。大きな望遠鏡を除く天文学者に聞く「そこから何が見えるのですか？」と尋ねると、こう尋ね返される「教えてくれないか？」僕たちは何処からきて、何処に行くのか？」その答えを探す心の中は宇宙を見ていた。そして江美留は、小説家になることを夢見て、決断する。

それから數十年、青年・江美留の人生は夢とは真反対の地獄にいた。夢を持ってしまったが故の苦しみ。少年の頃に抱いた夢と決断は本当に正しかったのか？極限の生活中で現れる鬼に問われる「おまえの目標は、人間とは何か？」果たして、江美留はその答えを見出せることができるのか？

16:50 トーキー：林海象 監督 司会：小林三四郎

17:10



第17回長岡インディーズムービーコンペティション

全国から意欲に満ちあふれた自主映画が長岡に集結し、その中からグランプリを決定しました。グランプリ作品をはじめ、30分以内の受賞作の上映と授賞式を行います。

19:40



第16回の様子